

2022年11月24日

各位

TotalEnergies  
ENEOS株式会社

## 和歌山製油所における持続可能な航空燃料の製造に関する事業化調査について

TotalEnergies（CEO：Patrick Pouyanné、以下「トタルエナジーズ」）とENEOS株式会社（社長：齊藤 猛、以下「ENEOS」）は、SAF製造に関する事業化調査（フィージビリティスタディ、以下「本検討」）を、既存設備の有効活用や各種条件を総合的に勘案した結果、当初のENEOS根岸製油所（神奈川県横浜市）からENEOS和歌山製油所（和歌山県有田市）へ変更することとしましたので、お知らせいたします。

本検討対象の設備では、主に廃食油、獣脂といった廃棄物や余剰物を原料とし、将来的に年間約30万トン（40万KL）のSAF製造を想定しています。また、両社はSAF製造の合弁会社を設立する予定です。

両社は引き続き、それぞれの知見と専門性を活かし、日本におけるSAFの持続可能な量産供給体制を2026年までに構築することを目指してまいります。

以上

### 【参考】

2022年4月14日 ENEOS根岸製油所における持続可能な航空燃料の製造に関する事業化調査について

[https://www.eneos.co.jp/newsrelease/upload\\_pdf/20220414\\_05\\_01\\_2008355.pdf](https://www.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20220414_05_01_2008355.pdf)

2022年1月25日 当社石油製品の生産・供給体制の再構築について

[https://www.eneos.co.jp/newsrelease/20220125\\_01\\_01\\_2008117.pdf](https://www.eneos.co.jp/newsrelease/20220125_01_01_2008117.pdf)